

第四北越フィナンシャルグループが活用する 5つの資本

2022年6月24日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

第四北越FGが活用する5つの資本の状況

第四北越FGは、事業活動において5つの資本を活用し、地域社会の課題解決に貢献し続けることで、

ステークホルダーの皆さまに提供する価値の最大化と、当社の持続的成長を実現していきます

また、人財やノウハウは特に重要な経営資源との認識のもと、人的資本および知的資本の更なる強化に取り組んでいます

人的資本

－ 行員の能力伸長を促す新人事制度の導入

－ エキスパート人財の採用・登用

－ 専門資格を保有する職員

詳細
P 2～4

● FP 1 級 193名

● 証券アナリスト 55名

● 中小企業診断士 46名

(第四北越銀行、第四北越証券 2022年3月末現在)

知的資本

－ 地域課題の解決に向けた多面的なコンサルティング能力

－ 幅広い分野の専門性を有するグループ機能

－ 地方銀行広域連携の枠組み
「TSUBASAアライアンス」

詳細
P5～10

財務資本

－ 新潟県内の金融機関で最大の資産規模

● 総資産（FG連結） 10兆6,703億円

● 預金（銀行単体） 8兆4,785億円

● 貸出金（銀行単体） 5兆1,305億円

－ 強固な財務体質

● 自己資本比率（FG連結） 10.51%

● 不良債権比率（銀行単体） 2.20%

(2022年3月末現在)

社会関係資本

－ 強固な事業基盤

● 県内預金シェア 49.7%

● 県内貸出金シェア 52.7%

● 給与振込口座数 60万口座

● 当行をメインバンクとする
企業数 1.7万先

※出典：帝国データバンク（2021年10月末）

(2022年3月末現在)

自然資本

－ 新潟県の豊富な農水産・自然資源

● 米の産出額 1,501億円 全国 No.1

● 水産練製品出荷額 344億円 全国 No.1

● 温泉地の数 145か所 全国 No.1
(宿泊施設のある)

出典：新潟県ホームページ

「新潟県あれこれ 全国ベスト5」



「人的資本」は、企業価値の持続的な向上を支える原動力です

第四北越FGは、地域への永続的な貢献を果たしていくため、グループ役職員が経営理念を軸とした価値観を共有し、志を一つにして、意識統合・組織融和に向けた取り組みを積極的に実施しています

意識統合・組織融和に向けた取り組み

意識統合に向けた説明会・交流会

経営陣と職員との対話
(2021/1～2022/5)

経営理念・中期経営計画の
浸透に向けた説明会

約**4,700**名が参加

管理職向け頭取説明会

約**350**名が参加

シナジー発揮に向けた
土台構築

役員との対話交流会

のべ約**300**会場

約**7,000**名が参加



組織融和に向けた人事異動

銀行合併時からの人事異動
(2021/1～2022/5)

全職員の約4割の人員数

約**2,000**名の人事異動を実施



経営理念の
実現に向けて

第二次中期経営計画
グループ全役職員の合言葉

→ 全役職員が経営理念を実現しよう
とする強い気持ちである「**志**」を一つ
にして、地域への永続的な貢献に
取り組むことを示しています。

志を一つにして
統一結志



第四北越FGは、お客さまや地域社会の成長を支える金融サービスを提供するため、
人財成長サイクル[※]の実現に向けた態勢を整備し、
コンサルティング機能の発揮に向けた人財育成に取り組んでいます

※人財成長サイクル

実践力の向上が成功体験を生み、
それが更なる主体的な学びと挑戦
の好循環に繋がるサイクルのこと

コンサルティング機能の発揮に向けた人財育成 – 実践力の向上 –

人財育成・コンサルティング能力の向上が着実に進展

第一次中期経営計画
(2018/10～2021/3)

マーケット別研修 × 営業担当者向け研修 × 営業店長向け研修 等

第二次中期経営計画
(2021/4～2024/3)

- ✓ コンサルティング能力の育成・強化
- ✓ グループシナジー発揮に向けた人財の強化
- ✓ 金融デジタル人財の育成
- ✓ 女性職員の戦略的人財育成 等





第四北越銀行では、2021年1月の合併と同時に新たな人事制度をスタートしました

新人事制度は、生産性向上と従業員満足度の両立に向けて求められている「4つの要素」を織り込んでいます

また、多様なキャリア形成に向けてエキスパート（専門人財役職）制度を導入するなど、職員一人ひとりの成長を支援しています

新人事制度の定着・浸透

生産性向上と従業員満足度の両立に向けて求められている4つの要素

プロフェッショナル人材育成

マネジメント改革

働き方改革

ダイバーシティ

銀行合併と同時に新たな人事制度をスタート

コンサルティング能力の向上に向けた視点



第四北越銀行 新人事制度の考え方

制度の基本方針

- ① 公正な評価
- ② 評価基準の明確化と成長支援
- ③ 多様な人財基盤の構築
- ④ 組織融和の促進
- ⑤ 人件費の適正化

コンサルティング能力
の発揮

多様なキャリア形成
・リモートワーク

成果と育成重視

多様性の尊重

エキスパート（専門人財役職）制度の新設

2021/10より
登用開始

個人営業4名、法人営業1名
戦略・マネジメント1名 合計6名



対象とする専門分野

個人営業

富裕層コンサルティング

法人営業

金融ソリューション・ファイナンス
事業承継・M&A、事業再生

戦略・
マネジメント

市場運用、IT・システム
データ解析・マーケティング
リスク管理



「知的資本」は、企業の競争力の源泉です

第四北越FGは、地域社会の課題解決に向けて、グループ経営資源の再配分により、コンサルティング機能を拡充し、営業力を強化しています

戦略人員の増員によるコンサルティング機能の拡充

営業店に常駐するコンサルティングスキルの高い本部専門人員

銀行合併前

30名

銀行合併後

70名

県内全ブロック
母店に配置

上級コンサルタント

法人CM

個人CM

県外戦略

CM：コンサルタントマネージャー

New! 2021/11
柏崎地区

New! 2021/11
魚沼地区

首都圏

コンサルティングプラザの増設による お客さま利便性の向上・サービスの拡充

個人ローンの相談拠点：コンサルティングプラザの増設

銀行合併前

9 拠点

銀行合併後

11 拠点

県内新築住宅
ローンマーケットの
9割をカバー

コンサルティングプラザ



第四北越FGは、近隣店舗が情報連携する「エリア一体営業」体制を構築しています
営業力の強化とともにノウハウを深化していくことで、お客さまのさまざまなニーズにお応えし、
圧倒的に支持される金融・情報サービスグループを目指しています

近隣店舗が連携したエリア一体営業によるノウハウの深化



- 支店長連携の強化
- 渉外系の互換性を高めた営業

地域・お客さまへの効果
コンサルティング
機能の向上

FG内への効果
営業力強化
生産性向上

営業店

従来からの強み
地域のお客さまとの
リレーション



M&Aノウハウ

営業店長が中心となって
マッチングを推進

近隣エリアでのM&Aマッチングが増加

＜M&A収益＞（百万円）

前期比
+7億円

1,083

+714
+193.4%

369

2021年3月期

2022年3月期

雇用維持・経済発展
に貢献

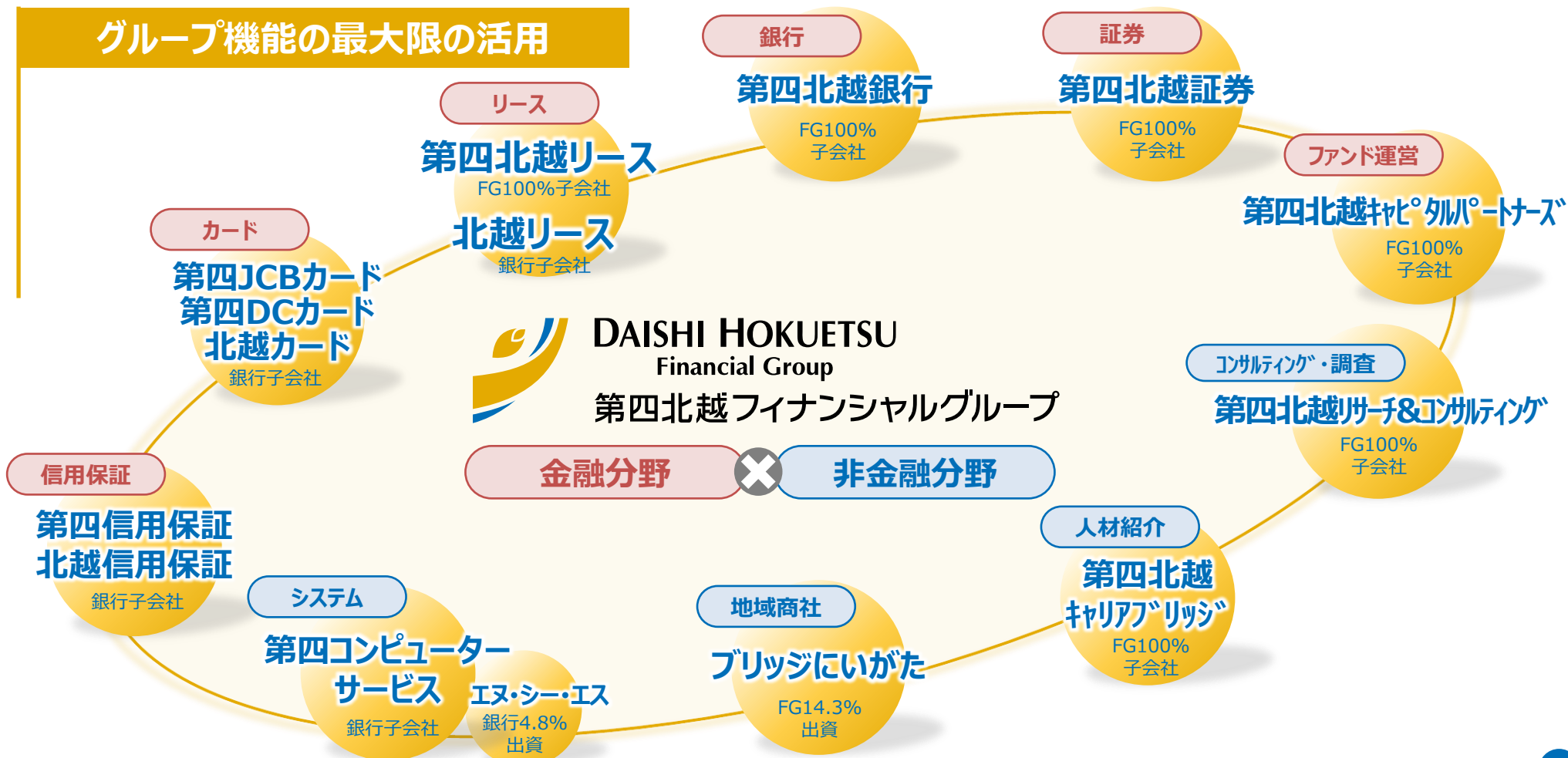
2022年3月期成約案件のうち
譲渡ニーズが『後継者不在』の
企業の従業員数 合計

約1,000名



第四北越FGは、6つの金融分野と4つの非金融分野における多面的な課題解決機能を持つ「金融・情報サービスグループ」です
お客さまの多様なニーズにタイムリーにお応えしていくため、グループ一体となってコンサルティング機能を発揮してまいります

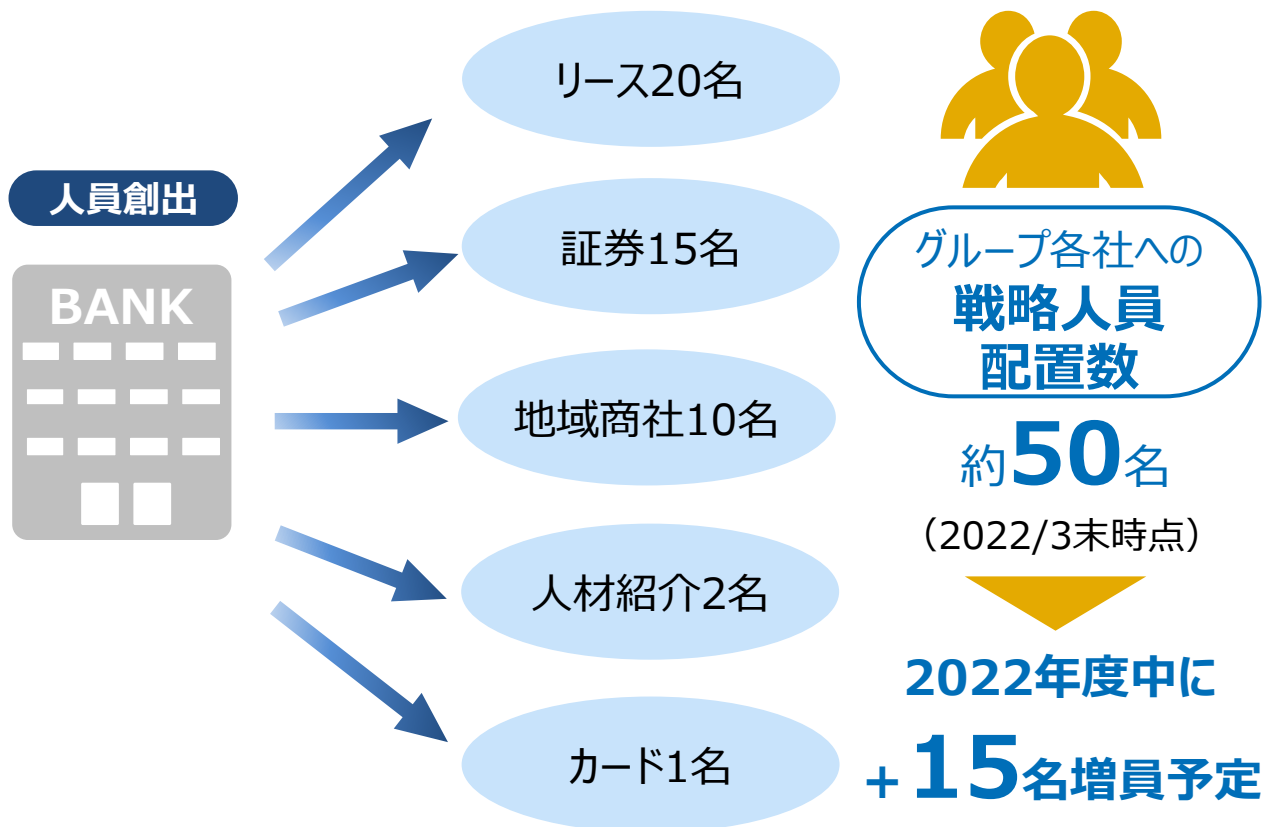
グループ機能の最大限の活用





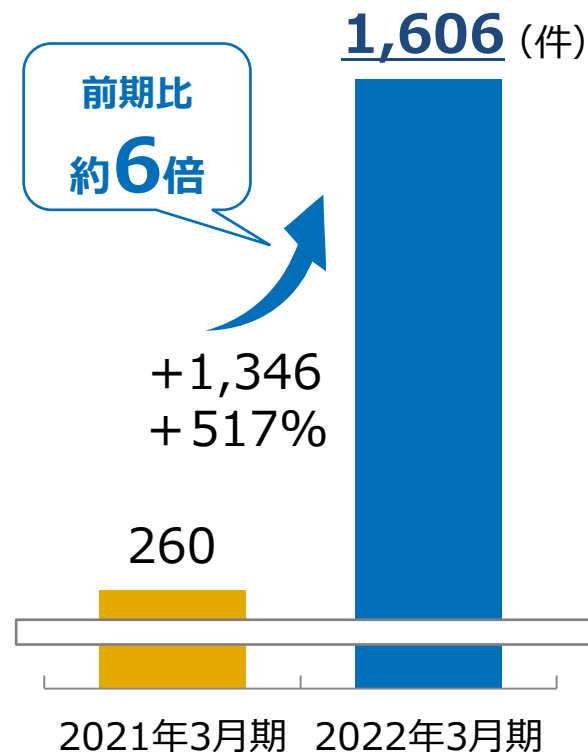
グループが持つ経営資源を最大限に活用するため、銀行合併や業務改革を通じて創出した人員をグループ内に再配置し、グループ連携の強化を図っています。今後も、グループ一体となって地域の課題解決に貢献していきます。

グループ経営資源の再配分等による連携強化



グループ連携による取り組み成果の一例

第四北越**リース**への紹介件数





「TSUBASAアライアンス」は、地域の持続的な成長や金融システムの高度化、
参加行グループの企業価値増大に向けて取り組む地方銀行広域連携の枠組みです
参加10行の総資産残高合計は96兆円超、日本列島を縦断、横断するネットワークを構築しています

地方銀行広域連携の枠組み



参加行数

10行

参加行の
総資産残高合計

96兆円超

(2022年5月末時点) (2022年3月期連結ベース)

第四北越銀行
連携施策によるシナジー効果

2015年10月～2022年3月まで

累計84億円



第四北越銀行

北洋銀行

すべてを地域のために
東邦銀行

群馬銀行

千葉銀行

武蔵野銀行

滋賀銀行

中国銀行

琉球銀行

伊予銀行

■ 本店所在地
■ 店舗所在地

トピックス

「群馬・第四北越 アライアンス」誕生
(2021年12月)

- 第四北越銀行と群馬銀行による連携協定を締結
- 両行は、「地域への更なる貢献」と「企業価値の持続的向上」に向けて、営業エリアが隣接し合う地理的特性を活かし、連携を更に深めています

新潟県トップバンク

群馬県トップバンク

第四北越銀行

群馬銀行



GUNMA
DAISHI HOKUETSU
ALLIANCE

群馬・第四北越 アライアンス



第四北越FGの第二次中期経営計画では、TSUBASAアライアンスを「イノベーション加速のメインエンジン」と位置づけており、今後も、地銀最大規模のスケールメリットをあらゆる分野で活用してまいります

新たな事業領域の拡大

- 2015年** **TSUBASAアライアンス発足**（2015年10月）
- 当行・千葉・中国の3行で発足
- 2016年**
- T&Iイノベーションセンター設立
 - 相続関連業務提携
- 2017年**
- 基幹系システム共同化
- 2018年**
- 事務部門共同化合意（当行・千葉）
 - TSUBASA FinTech共通基盤稼働
 - TSUBASA Smile導入
- 2019年**
- SDGs宣言
 - M&A広域連携
- 2020年**
- 為替デリバティブ分野業務提携（当行・東邦）
 - TSUBASA アライアンス(株)設立
- 2021年**
- (株)オンアドの設立合意（当行・千葉・中国）
 - TSUBASAアライアンス(株)に事業戦略部新設

「株式会社オンアド」の設立

特徴：「中立性」「リモート完結」「アドバイズに特化」

リモート面談による金融コンサルティングサービスの提供
専属アドバイザーが対応



ライフプランシミュレーションによる有料アドバイス

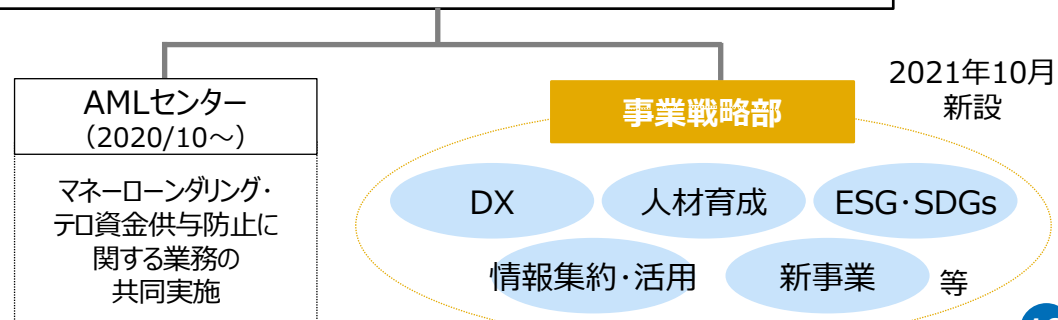
資産運用 相続・信託 保険 ローン 等

→ **会社設立** **2022年1月** **事業開始** **2022年4月**
New!

「事業戦略部」の新設

TSUBASAアライアンス株式会社（2020年7月設立）

各行共通課題への対応、業務集約、先進的サービス・機能の横展開





DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部 サステナビリティ推進室

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp